

商 業

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
ビジネス基礎	2単位	2年（選択）	農業機械科

教 科 書	ビジネス基礎（東京法令出版）	副 教 材	ビジネス基礎ワークブック(東京法令出版)、全商商業経済検定模擬テスト第3級ビジネス基礎(東京法令出版)全商ビジネス計算実務検定模擬問題集3級（実教出版）
-------	----------------	-------	--

科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を身に付けることを目指す。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	1 経済と流通	<ul style="list-style-type: none"> ・流通の意義と役割についての基礎的・基本的な知識を身に付け、流通の重要性を理解している。 ・さまざまなビジネス活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、その役割や種類について理解している。 ・企業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、どの形態の企業が存在するかを理解している。 ・ビジネス計算に関する基礎的・基本的な知識を理解し、活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産と消費の隔たりにはどのようなものがあり、その隔たりを埋めるためにどのようなことが必要か考え、流通の役割についての思考を深めている。 ・企業について、その種類や経営理念、出資者、経営組織を整理し、身の回りにある企業はどのような企業か調べ、表現できる。 ・ビジネス計算に関する知識と技術を身に付け、表現することができる。
2 学期	2 企業活動		
3 学期	3 取引とビジネス計算		
1 ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解している。また、ビジネスに関連する技術を身に付ける。 2 ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を習得する。 3 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む。			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技術	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスに関連する技術を身に付けている。
②	思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力が養われている。
③	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
定期 考 査	1 学期期末 2 学期期末 学年末 (計 3 回)	
評 価 方 法 (観点番号)	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（定期考査、問題演習） ②思考・判断・表現（定期考査、グループワーク、レポート提出） ③主体的に学習に取り組む態度 （授業態度、出席状況、グループワーク、レポートの記述）	

